



# 帆走指示書

## SAILING INSTRUCTIONS

日本レーザークラス協会が主催、共同主催、または公認する地域選手権などのレガッタでは、この帆走指示書が使用されます。帆走指示書のブランク・選択部分や変更箇所は、公式掲示板に書面で発表されます。  
Japan Laser Class Association



### 2022 レーザー秋の北海道選手権大会

場所 北海道室蘭市 室蘭市 B&G 海洋センター  
日時 2022 年 9 月 10 日～11 日  
主催 一般社団法人日本レーザークラス協会  
レーザー室蘭フリート  
後援、協力 北海道セーリング連盟、室蘭セーリング協会、室蘭市 B&G 海洋センター、(株)エンルムマリーナ

#### 1. 競技規則

- この帆走指示書によって変更のあるものを除き、全レースを通じて国際セーリング競技規則 2021-2024(RRS)、日本セーリング連盟規程、インターナショナルレーザークラス規則を適用する。
- 艇をチャーターした場合のセール番号は、チャーター艇の艇体番号あるいはチャーターする本人の艇の艇体番号に合ったものでなければならない。
- ペナルティー方式 RRS 付則 P を適用する。
- (DP) は、その規則の違反に対するペナルティをプロテスト委員会の裁量により失格より軽減することが出来ることを意味する。
- (NP) は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。

#### 2. 運営者の責任範囲

日本セーリング連盟、日本レーザークラス協会、公式役員、およびボランティアは、大会期間中における人身事故、物品の損失及び個人的な負傷、あるいは事故に関して、一切の責任を負わない。この帆走指示書の規程は、競技者個人の責任を制限するものではない。

#### 3. エントリー(DP)(NP)

- インターナショナルレーザークラス協会の当年度メンバーのみ本大会に出場することができる。
- 大会の全レースを通じて、エントリーフォームにヘルムスマンとして、その名を記した者が乗艇しなければならない。
- 競技者は、有効な傷害保険、賠償保険又は相当のスポーツ保険に加入していなければならない。

#### 4. 帆走指示書の変更及び選手への通告

この帆走指示書の変更及び選手への通告は、その日の最初のレースのスタート予定時刻の遅くとも 1 時間前までに、公式掲示板に書面で掲示される。

#### 5. 公式掲示板および陸上における信号用マスト

公式掲示板はレース本部に設置される。陸上における信号用のマストは、室蘭市 B&G 海洋センター内に設置される。

#### 6. 陸上における信号

- 陸上における信号は、陸上の信号用マストより発せられる。
- (DP)(NP)陸上の信号用マストに“D 旗”が掲揚(音響信号 1 声)されるまで出艇してはならない。D 旗掲揚後、30 分以降に予告信号が発せられる。
- 陸上の信号マストに“AP 旗”が掲揚(音響信号 2 声)された時は、レースは延期され、予告信号は“AP 旗”降下(音響信号 1

声)後 30 分以降に発せられる。

#### 7. 計測(DP)(NP)

濡れた衣類の計測および装備のチェックは、レース委員会の判断により、大会期間中、随時行うことがある。

#### 8. 艇と装備(DP)(NP)

- 競技者は、唯一の艇体(計測がある場合にはその計測で確認されたもの)、セール(主催者からエントリー番号が配布された場合には、それを第 1 及び第 2 パネルに貼り付けたもの)、マスト、ブーム、センターボードおよびラダーのみを使用しなければならない。
- 損傷が生じた場合は、当該レガッタのメジャラーより書面による許可を受けた場合のみ、これを交換することができる。

#### 9. 安全(DP)(NP)

- 各選手は、ライフジャケット あるいは ウェストコースト型救命具を、出艇中は常時着用しなければならない。(RRS 40 を変更)
- レスキューボートに救助を求める必要がある場合には、“手のひらを広げて” 振り、その意思を表すこと。救助の必要がない場合には“こぶしを握って” 振ること。
- 必要とみなされた場合に、各選手は帆走困難の艇を放棄してレスキューボートに乗艇するよう命じられることがある。これらの安全に関する指示に従わない場合、失格となる場合がある。
- 直径 6 mm、長さ 5 m 以上のパウラインをパウアイにつけておかなければならない。
- マストトップに浮力体を取り付けても良い。形状は球形に限り、一箇所のロープで取り付けなければならない。コンディションにより、付けた外し外したりしてもよい。
- フィニッシュ後にリタイアする艇は、帰着後直ちに、プロテストタイム終了以前に、レース本部に報告しなければならない。

#### 10. 出艇・帰着申告(DP)(NP)

出艇・帰着申告には、タリーシステム方式を採用する。各艇は毎日、出艇前にレース本部のタリーボードから各自に指定されたタリーを裏返して出艇し、帰着後直ちに(プロテストタイム内に)タリーを表に返さなければならない。

#### 11. レース日程

- |          |       |   |
|----------|-------|---|
| 9月10日(土) | 9:00  | 受付  |
|          | 10:00 | 開会式、ブリーフィング<br>開会式は簡略で行う                                |
|          | 11:25 | 第 1 レース予告信号<br>引き続きレースを行う<br>※最大3レースを予定                 |
| 9月11日(日) | 8:30  | ブリーフィング   |
|          | 9:25  | 当日最初の予告信号<br>引き続きレースを行う<br>※最大2レースを予定<br>(2日間で最大5レース予定) |
|          | 12:30 | 以降の予告信号は発しない  |
|          | 15:00 | 閉会、解散   |
- 前述のプログラムおよびスタート時刻は、それが発効する前日の 19:00 以前に公式掲示板に掲示することにより変更される場合がある。

#### 12. クラス旗

クラス旗はグリーン地に赤のレーザーマークとする。

#### 13. スタート

- スタートラインは“オレンジ旗”を掲げたコミッティーボート上のマストと帆走指示書 16(b) に示されるスターティングマークとの間とする。
- スタート信号後 4 分以降にスタートした艇は(DNS)と記録される。(RRS A4, A5 を変更)
- 各クラスは、同時にスタートする。

## 14. 欠番

## 15. コース、及びレースエリア

- コースエリアは、公式掲示板に示されるコース水域図上におおよそ示された水域である。
- コースは、おおよそ末尾のコース図に示されるように設定される。

## 16. マーク

- マーク 1、2、は、黄色円柱型、変更マークは、ピンク色長円柱型 オフセットマークは、緑色長円柱型とする。
- スターティングマークは、赤色丸型とする。
- フィニッシングマークは、赤色丸型とする。

## 17. コースの次のレグの変更

下記のとおり RRS 33 [コースの次のレグの変更] を追加する。

- コースは、通常のマークの位置を変更することが不可能な場合には、1つあるいは複数の変更用マークを使用してセットしなおされる場合がある。変更用のマークがすでに使用されている場合には、コースが通常のマークを使用してセットしなおされる場合がある。
- レグの長さの伸縮を示す “+” および “-” の信号は示されない。(RRS 33(b) を変更)

## 18. コース短縮

コースを短縮することがある。

## 19. フィニッシュライン

フィニッシュラインは “青色旗” を掲げたコミッティーボートのマストと、帆走指示書 16(c) に示されているフィニッシングマークとの間とする。

## 20. タイムリミット

トップ艇フィニッシュ後、20 分以降にフィニッシュした艇に、フィニッシュしなかった艇(DNF)と記録される。(RRS 35, A4, A5 を変更)

## 21. プロテスト

- プロテストは書面にてプロテストタイム内にレース本部に提出しなければならない。プロテストフォームはレース本部に用意される。プロテストタイム・リミットは、その日の最終艇のフィニッシュ後 45 分、あるいは公式掲示板に掲示された時刻とする。
- 審問の時間と場所は、プロテストタイム終了 20 分以内に公式掲示板に掲示される。
- レース委員会あるいはプロテスト委員会から艇に対する抗議は、プロテストタイム終了までに公式掲示板に掲示される。(RRS 61.1(b))。
- 最終日における再審の要求は、前日の抗議の裁決による場合はプロテストタイム終了後 20 分、当日の審問の場合は、裁決を言い渡されてから 20 分以内、最終日がノーレースとなった場合は、AP/A 旗が掲揚されてから 20 分以内とする。

## 22. 得点方法

得点方法には、RRS 付則 A の低得点方法を適用する。

ただし、4レースまたはそれ以下の場合は、すべてのレースの合計を得点とする。最低1レースをもって本大会は成立する。

## 23. 賞

レース公示による。

**DPI: 裁量ペナルティー(プロテスト委員会の裁量による失格よりも低い得点ペナルティー)に関する指針**

(日本レーザークラス協会 2013.09.11)

**表記: (DP)**

性能及び成績に影響があるものは、当該フリート(グループ)のエントリー数の 40%、安全に関するものは 30%、それ以外の場合は 20% (小数点以下切り上げ、DSQ 得点を超えない)とする。  
プロテスト委員会は違反の重要度により更なる調整が可能。

## ※コース図

